

## 単元名 私たちの生活と経済

配当時間 24時間

- 単元の目標 (1) 身近な消費生活を中心に、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみやはたらき、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容、社会資本の整備、環境の保全、社会保障の充実・安定化、消費者の保護、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、諸資料から経済と社会生活に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意味と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察したり、市場のはたらきに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について公正に判断したりしその過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題や解決方法を考える活動を通して、主体的に社会に関わろうとする。

## 標準的な展開例

12220203\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 私たちの生活と経済との関わりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漫画「文化祭を成功させよう！」を読む。</li> <li>★ 漫画を通して、私たちの生活と経済の「見方・考え方」をとらえよう。</li> <li>○ なぜ浴衣やプールを家から持ち寄ることにしたかについて話し合う。</li> <li>○ 輪投げ店を一日で作るためにどのような工夫をしていたかについて話し合う。</li> <li>○ 「まんがについて」を読み、本単元の見方・考え方について話し合う。</li> <li>○ 単元の学習問題をつかむ。</li> <li>● 私たちの暮らしを支える経済には、どのようなしくみとはたらきがあるのだろう。</li> </ul> <p>2 経済のしくみについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 私たちの暮らしは、経済とどのように関わっているのだろう。</li> <li>○ 限りある資源の使い方について考える。</li> <li>○ 資源と選択の効率性について知る。</li> <li>○ 経済の循環について調べる。</li> <li>○ 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</li> <li>■ 消費者は、経済活動において、どのような役割と責任があるのだろう。</li> </ul> <p>3 経済活動の意義について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 経済活動には、どのような意義があるのだろう。</li> <li>○ 社会生活で見られる分業と交換について話し合う。</li> <li>○ 生産活動における分業について調べる。</li> <li>○ 経済活動が私たちの生活に与える影響について説明する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分業と交換により、貴重な資源や時間、労力を無駄にすることなく、効率的に欲しいものやサービスを手に入れることができ、浮いた時間などを他のことに回せるため、私たちの生活は豊かになる。</li> </ul> </li> </ul> <p>4 私たちの消費生活について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 消費生活は、何によって支えられているのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教P. 122～P. 123</li> <li>・ 生産資源やそれから生産される財やサービスの利用可能性が、人間の欲望を満たすためには不足している状態を指す「希少性」という見方・考え方に関連付ける。</li> <li>・ 看板作りに手慣れた女子生徒と、ダンボールを切る男子生徒との間で、「分業と交換」が行われていることに気付かせる。</li> <li>・ 教科書中から見方・考え方に該当すると思われる言葉に着目させるとともに、これまでの公民的分野での学習を振り返って考えさせる。</li> <li>・ 教P. 124～P. 125</li> <li>・ 希少性と選択に着目して、お金や資源の使い方について追究させる。(希少性)</li> <li>・ アクティビティに取り組ませることで、人の限らない欲求に対して消費できる資源には限りがあるという「希少性」の見方・考え方を捉えさせる。</li> <li>・ 社会生活を営むにあたり、私たちは常に多くの選択の機会にさらされており、その際に効率性を考えた選択を行うことの重要性を知らせる。</li> <li>・ 資料中に出てくる「消費」「生産」「財政」の三つが経済の学習の大きな柱であり、今後はその柱に沿って学習を進めていくことを知らせる。</li> <li>・ 教P. 126～P. 127</li> <li>・ 経済活動の意義を、豊かさをもたらす分業と交換に着目して追究させる。(分業と交換)</li> <li>・ 資料を参考に、実体験も踏まえてどのような分業と交換が行われているかを考えさせる。</li> <li>・ 分業によって効率よく財やサービス、資源等を生み出していることや、それらを交換することにより、豊かな生活を送ることができるようになることをつかませる。</li> <li>・ 「公民＋α」の内容にも触れさせることで、分業について多面的・多角的に捉えさせる。</li> <li>・ 「確認」に取り組ませることで、経済活動は分業と交換で成り立っており、それによって私たちの暮らしが豊かになっていることを捉えさせる。</li> <li>【評】経済活動の意義について、分業と交換の視点を踏まえて説明する活動を通して「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 教P. 128～P. 129</li> <li>・ 収入と消費の関係を、希少性に着目して追究</li> </ul>

- 身の回りにある財やサービスについて話し合う。
- 家計の収入と支出について調べる。
- 消費生活とお金について調べる。
- 5 消費者の権利と自立を支える政府のはたらきについて考える。
  - ★私たちの消費生活を守るために、どのようなしくみがあるのだろう。
  - 契約について話し合う。
  - 消費者主権と消費者問題について考える。
  - 消費者を守るための政府のはたらきについて考える。
    - ・消費者と生産者の間には情報の質と量や交渉力に格差があり、実質的には対等ではない。そのため、自由で公正な社会をめざして消費者の利益を保護する政策がとられている。
- 6 ものの流れと情報の流れについて調べる。
  - ★私たちは、生活に必要なものをどのようにして手に入れているのだろう。
  - 商業について調べる。
  - さまざまな流通のしくみについて考える。
  - 情報化が消費者や企業に与える影響について調べる。
- 7 市場のしくみと価格の決め方について調べる。
  - ★価格はどのようにして決め、どのようなはたらきをもっているのだろう。
  - 海外旅行の料金表を見て話し合う。
  - 価格の決め方について調べる。
  - 価格と資源の使われ方の関係について調べる。
- 8 生産活動とそのしくみについて調べる。
  - ★私たちが消費しているものは、どのようにして生産されているのだろう。
  - 企業について調べる。
  - 生産に必要なものについて調べる。
  - 知的資源と技術革新について考える。
  - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
    - 企業には、経済活動においてどのような役割と責任があるのだろう。
- 9 株式会社のしくみと企業の社会的責任について調べる。
  - ★企業は何を目的とし、どのようなしくみになっているのだろう。
  - 企業のしくみについて調べる。

- させる。（希少性）
- ・自分たちが普段どのようなものにお金を使っているのかを発表させた後、出てきたお金の使いみちが財とサービスのどちらに当てはまるのかを話し合わせる。
- ・資料を基に収入と支出の種類について調べさせるとともに、「深めよう」に取り組みさせることで、貯蓄の必要性についても捉えさせる
- ・現在では貨幣に限らず、様々な支払い方法があることに気付かせる。
- ・教P. 130～P. 131
- ・政府による消費者保護について、公正に着目して追究させる。（公正）
- ・資料を基に、契約が成立するのはどのタイミングなのかについて話し合わせる。
- ・アクティビティに取り組みさせることで、消費者主権について公正や持続可能な観点から多面的・多角的に考えさせる。
- ・消費者の努力だけでは防げない問題から消費者を守り、自由で公正な社会を実現しようとしていることを捉えさせる。
- 【評】政府がなぜ消費者保護政策を行っているのかについて、公正の視点を踏まえて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 132～P. 133
- ・流通やお金の役割を、分業と交換に着目して追究させる。（分業と交換）
- ・普段買い物に行く店は、大体が小売業者によるものであることに気付かせる。
- ・アクティビティに取り組みさせることで、商業のはたらきと流通の合理化が進んできている理由を、効率や分業と交換といった視点から考えさせる。
- ・教p. 10～P. 11や教p. 58～P. 59で取り扱った既習事項とも関連付けて情報化が消費者や企業に与える影響を捉えさせる。
- ・教P. 134～P. 135
- ・価格のはたらきについて、効率に着目して追究させる。（効率）
- ・同じ旅行内容でも、日によって価格に違いがあることや、なぜそのような違いが生じるのかについて話し合わせることで、価格に影響を与える条件について考えさせる。
- ・アクティビティに取り組みさせることで、需要曲線と供給曲線が変動することによって均衡価格が変化することを捉えさせる。
- ・市場経済のしくみについて、効率の視点から調べさせる。
- ・教P. 136～P. 137
- ・生産のしくみについて、分業と交換に着目して追究させる。（分業と交換）
- ・普段何気なく利用しているものやサービスは実は多様な企業によって生み出されていることに気付かせる。その上で、知っている企業を分類分けさせることで、身近に捉えさせる
- ・四つの生産要素が必要であることを捉えさせるとともに、「公民＋α」を活用し、生産要素の中でも特に知的資源が重要視されていることに着目させる。
- ・「深めよう」に取り組みさせることで、既習事項と関連付けながら知的財産や技術革新の重要性について考えさせる。
- ・教P. 138～P. 139
- ・企業の役割と責任について、効率的な生産と公正さに着目して追究させる。（効率と公正）
- ・最も代表的な私企業である株式会社のしくみに焦点をあてさせ、株主と株式会社との関係

- 株式市場のしくみについて調べる。
- 企業の社会的責任について調べる。
- 10 企業の競争と独占の問題について考える。  
★ 資本主義経済には、どのような利点と問題点があるのだろうか。
- 資本主義経済による競争と企業のしくみについて知る。
- 企業の競争には、どのようなよい点があるのかについて考える。
- 企業の競争による課題について考える。
- なぜ公共料金が存在するのかについて考える。
- 企業の競争によって生じる利点と問題点について説明する。  
・ 企業の競争によって品質の向上、生産費の引き下げなど利点があるが、企業の競争が弱まると独占の問題、品質の停滞、価格の引き上げなどの問題点が生じる。企業の公正で自由な競争が資本主義経済の健全な発展につながる。
- 11 グローバル化する経済と現代の企業について調べる。  
★ グローバル化する企業の活動には、どのような変化と課題があるのだろうか。
- グローバル化による企業競争について調べる。
- 自由貿易について考える。
- 企業活動がグローバル化することによる利点と課題について説明する。
- 12 企業活動と景気の変動について調べる。  
★ 景気の変動と私たちの生活には、どのような関わりがあるのだろうか。
- なぜ景気の変動が起きるのかについて考える。
- 景気の変動のしくみについて調べる。
- インフレとデフレについて知る。
- 13 働く意味と労働者を支えるしくみについて考える。  
★ 人はなぜ働くのだろうか。また、働きやすい職場には、何が必要なのだろうか。
- なぜ人は働くのかについて考える。
- 労働者と企業の関係と、労働者を支えるしくみについて調べる。

- や、株主総会の枠割について調べさせる。
- ・ アクティビティに取り組ませることで、株主は様々な目的をもって株式投資を行っていることを感じ取らせ、株式市場のしくみに触れさせる。
- ・ 調べる中で、企業の社会貢献活動と自分との関わりについて振り返らせる。
- ・ 教P. 140～P. 141
- ・ 競争によって、商品の値下がりといった利点だけでなく、独占や寡占の問題も起こることについて、効率と公正の視点に着目して追究させる。
- ・ 商品を購入した経験や資料①～③から、市場での競争は価格の引き下げや商品の品質向上につながり、消費者に利益をもたらすことに気付かせる。
- ・ 競争の結果寡占や独占の状態になると、逆に価格の引き上げや品質の停滞が起こることを捉えさせる。
- ・ アクティビティに取り組ませることで、独占禁止法の意義について効率と公正の視点から考えさせる。
- ・ 資料を基にどのようなものが公共料金として定められているのかを確認した上で、もしそれらに価格カルテルが起こったらどうなるかを予想させる。
- ・ 企業の競争は消費者の利益になることもあるが、効率を求めて公正さを失うこともあることを捉えさせる。
- 【評】企業の競争によって生じる利点と問題点について、効率と公正の視点を踏まえて説明する活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・ 教P. 142～P. 143
- ・ 企業活動の意義について、国境を越えた分業と交換に着目して追究させる。（分業と交換）
- ・ 地理的分野での学習と関連付けることで、日本が近年どのような国と産業的な結び付きを強めているかについても確認させる。
- ・ 国境を超えた分業と交換によってよりよい商品が作られ、世界経済が豊かになることを捉えさせる。
- ・ アクティビティに取り組ませることで、自由貿易と関税について、多面的・多角的に考えさせる。
- ・ 本時の学習のまとめとして、グローバル化する企業活動について多面的・多角的にまとめさせる。
- ・ 教P. 144～P. 145
- ・ 景気の変動とその影響について、効率に着目して追究させる。（効率）
- ・ 資料を参考に、景気変動の原因や、好況期→後退期→不況期→回復期と四つの局面を繰り返しながら経済成長していくことを捉えさせる。
- ・ 資料③を活用し、調べたことを項目ごとにまとめさせる。
- ・ インフレとデフレはどのような状況になるのか確認して、これからの日本経済は何を重要視すればよいのかを考えさせる。
- ・ 教P. 146～P. 147
- ・ 働くことの個人的・社会的な意味について、分業と交換や効率と公正に着目して追究させる。（分業と交換、効率と公正）
- ・ 収入を得て安定した生活を送るためといった個人的な側面と、分業と交換に基づく社会参画をしているといった社会的な側面との両面から捉えさせる。
- ・ 日本国憲法での学習を振り返りつつ、労働基準法や労働組合について憲法の条文も踏まえて調べさせる。
- ・ 調べたことを基に、資料①の資料活用問題に取り組ませることで、労働者を支えるしくみ

- 労働者を支えるしくみの意義について考える。
- 14 変化する雇用の形について調べる。  
★日本の雇用には、どのような変化や課題があるのだろうか
- 雇用に関する問題への考え方について話し合う。
  - 雇用の変化について調べる。
  - 雇用の課題と解決策について考える。
- 15 女性の働く環境と高齢者雇用について調べる。  
★女性と高齢者の雇用の重要性が高まっているのはなぜだろう。
- 女性の働き方について調べる。
  - 女性や高齢者が働きやすい環境について話し合う。
  - セーフティネットのはたらきについて知る。
  - 雇用と労働に関する学習を振り返り、将来どのように働きたいかについて考える。
    - ・必ずしも雇用者が私たちを守ってくれるわけではないので、労働基準法などをしっかりと理解した上で、ワーク・ライフ・バランスが実現できるような働き方をしたい。
- 16 金融のしくみについて調べる。  
★金融とは何で、どのようなしくみになっているのだろうか
- お金のもつ役割について調べる。
  - 金融の意味について調べる。
  - 銀行のはたらきについて調べる。
  - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
  - 金融のしくみは、私たちの生活とどのように関わっているのだろうか。
- 17 日本銀行と金融政策について調べる。  
★経済活動の支払手段である通貨は、だれがどのように管理しているのだろうか。
- 日本銀行のはたらきについて調べる。
    - ・日本銀行は発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行の三つのはたらきをもっており、一般の銀行とは違って家計や企業にお金を貸すことはない。
  - 日本銀行が行う金融政策について調べる。
  - 日本銀行が行う金融政策について、具体例を挙げて説明する。
- 18 金融のグローバル化と為替相場について調べる。  
★なぜ円と外国通貨を交換する必要がある、交換比率が変化するのである。
- 円と外国通貨を交換する必要性について考える。

- の大切さに気付かせる。
- ・アクティビティに取り組みさせることで、労働基準法や労働組合が存在する意義について捉えさせる。
- ・教P. 148～P. 149
- ・望ましい雇用のしかたと働き方のバランスについて、効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正）
- ・前時の学習内容では、労働者の立場が弱くなりがちであることを確認させる。
- ・派遣労働者の意見と経営者の意見について話し合わせる中で、他の資料にも注目させ、日本における雇用形態の特徴や課題について捉えさせる。
- ・非正規雇用労働者や外国人労働者が増加していることなどを資料を基に捉えさせる。
- ・「深めよう」に取り組みさせることで、日本の雇用問題とその解決策について、需要と供給の観点から考えさせる。
- ・教P. 150～P. 151
- ・女性や高齢者の働き方について、効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正）
- ・「深めよう」に取り組みさせることで、女性の社会進出がまだまだ進んでいない現状や、他国に比べて遅れていることを捉えさせる。
- ・資料を基に根拠を明確にした上で、どのようなことを改善していく必要があるのかを多面的・多角的な視点から話し合わせる。
- ・失業は、国民の基本的な人権に関わる切実な問題であることを捉えさせる。
- ・第13～15時で学習した内容をふまえ、現代の雇用のあり方について考えさせたいうえで、どのように働きたいか、どのようなことに気を付けていきたいかなどを記述させる。
- 【評】雇用と労働に関する学習を振り返り、将来どのように働きたいかについて考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・教P. 154～P. 155
- ・お金の貸し借りの意義について、希少性に着目して追究させる。（希少性）
- ・お金のもつ役割には、価値の尺度、交換手段、価値貯蔵手段があることに気付かせる。
- ・資料②から、私たちが銀行にお金を預けるといふ身近な行為が、金融のはたらきにより企業や新事業の資金になるなど、経済の活性化につながっていることに気付かせる。
- ・銀行はどのようにして利益を生み出しているのかについて考えさせたり、直接金融と間接金融の違いについてまとめさせたりする。
- ・教P. 156～P. 157
- ・日本銀行の役割について、効率と公正や安定に着目して追究させる。（効率と公正）
- ・日本銀行のもつ三つのはたらきに着目させ、一般の銀行とは違う役割があることに気付かせる。
- 【評】日本銀行のもつ三つのはたらきについて一般の銀行との相違に着目して調べ、まとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する
- ・資料④を基に、日本銀行は景気の良し悪しに応じて国債を売買し、景気の安定を図ろうとしていることに気付かせる。
- ・「確認」に取り組みさせることで、金融政策についての理解を深めさせる。
- ・教P. 158～P. 159
- ・円と外国通貨との交換の必要性和重要性について、国境を越えた分業と交換に着目して追究させる。（分業と交換）
- ・交換できない場合、海外旅行に行くとうなるかなどを予想させ、通貨交換の必要性に気付かせる。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○円高と円安について調べる。</li> <li>○為替相場の変化による影響について考える。</li> </ul> <p>19 財政のはたらきについて調べる。</p> <p>★経済における政府の仕事にはどのようなものがあるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○財政の役割について調べる。</li> <li>○政府が経済活動を行うことの重要性について考える。</li> <li>○財政の収入と支出について調べる。</li> <li>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</li> <li>■政府が経済活動を行うことには、どのような意義があるのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉による説明だけでは意味を捉えにくいいため、資料①を用いて視覚的に捉えさせる。</li> <li>・アクティビティに取り組みさせることで、為替相場の変化が社会に与える影響を多角的に捉えさせる。</li> <li>・教P. 160～P. 161</li> <li>・財政の役割について、効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正）</li> <li>・資源配分の調整、所得の再分配、経済の安定化の三つの役割があることを捉えさせ、それらによって公正な社会の実現や社会の安定につながっていることに気付かせる。</li> <li>・「深めよう」に取り組みさせることで、政府が行う経済活動は十分な利益を生まないため、私企業では補えない国民の生活を維持するための事業やサービスを提供することであることを捉えさせ、その重要性に気付かせる。</li> <li>・資料⑤を基に、歳入歳出の費目と特徴だけでなく、30年前と比べてどのような変化が起きたかについても読み取らせる。それらの活動により、財政の重要性や課題について気付かせることで、小単元の学習問題や次時の学習へとつなげる。</li> </ul>
<p>20 国の収入を支える税と国債について考える。</p> <p>★国の収入には、どのような特徴や課題があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○税にはどのようなものがあるかについて話し合う。</li> <li>○公正な税のあり方について考える。</li> <li>○国債発行の課題について調べる。</li> <li>○歳入の特徴と課題についてまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入には直接税と間接税、国税と地方税といった種類がある。また、税のしくみには税はそれぞれの支払い能力に応じて負担するのが公正だとする累進課税と、個人の能力に関係なく同じ税率を負担するのが公正だとする逆進性がある。</li> <li>・国債は、財政だけで必要な財政支出をまかなえない時に資金を調達することができるが、借金がふくらんでしまい、未来の世代に大きな負担をかけることになってしまう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教P. 162～P. 163</li> <li>・税金のしくみや国債発行の影響について、効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正）</li> <li>・身近な消費税以外にも、税には様々な種類があることに気付かせる。また、国税と地方税直接税と間接税といった分類を示し、知っている税がどれに当てはまるのかについても話し合わせる。</li> <li>・アクティビティに取り組みさせることで、累進課税と逆進性について、資料を基に公正の観点から判断させ、その理由を述べさせる。</li> <li>・国債残高の累積は、返済に伴う政策自由度の減少や、将来世代への負担を増やすことによる世代間の不公平の拡大という問題でもあることを捉えさせる。</li> <li>・税の種類や納め方のしくみ、公正な税負担の考え方、国債発行の意義や問題点についてまとめさせる。</li> <li>【評】歳入の特徴と課題についてまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> </ul>
<p>21 社会保障のしくみについて調べる。</p> <p>★人間らしい生活を保つために、どのようなしくみがありどのようにして支えられているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○なぜ社会保障が必要なのかについて調べる。</li> <li>○社会保障制度の内容について調べる。</li> <li>○社会保障が政府によって運営されている理由について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教P. 164～P. 165</li> <li>・社会保障のしくみを公正に着目して、社会保障の財源について希少性に着目して、それぞれ追究させる。（公正、希少性）</li> <li>・社会保障制度がすべての人のためにあることや、互いに助け合う意義、国の責任で社会保障が行われている意義について、生存権の学習と関連付けて捉えさせる。</li> <li>・社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生の四つの柱があることに加え、社会保険は保険料から、残りの制度は税金から費用を捻出していることを捉えさせる。</li> <li>・「深めよう」に取り組みさせることで、多くの人が支え合うことで、必要な時に給付を受けることができるという効率の面と、誰もが平等に給付を受けることができるという公正の面から社会保障制度を捉えさせる。</li> <li>・教P. 166～P. 167</li> </ul>
<p>22 少子高齢社会における福祉の充実と財源について調べる</p> <p>★少子高齢社会において、社会保障制度を維持・改善させるためには、何が必要なのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○少子高齢社会における社会保障の現状について調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障制度の充実のために必要なことについて、対立と合意や効率と公正に着目して追究させる。（対立と合意、効率と公正）</li> <li>・少子高齢化により、年金、医療、福祉といっ</li> </ul>

<p>○持続可能な社会保障に向けて必要なことを調べる。</p> <p>○社会保障制度を改善するためにできることについて話し合う。</p> <p>23 環境保全の担い手としての政府の役割について調べる。 ★経済活動によって起きた環境問題に対して、政府はどのような取り組みを行ってきたのだろう。</p> <p>○経済活動と環境問題の関係について知る。</p> <p>○環境問題に対する政府の取り組みについて調べる。</p> <p>○環境保全に向けた公的機関の取り組みに関する事例について調べる。 ・自分たちの住む地域の地理的環境を生かして環境に優しいまちづくりをしていることが分かった。自分たちの住む地域でも、似たような事例がないか調べてみたい。</p> <p>24 単元の学習を生かし、社会保障のあり方について考え、話し合う。 ★単元の学習を生かし、社会保障のあり方について考え、話し合う。</p> <p>○例示された政策について整理する。</p> <p>○どちらの政策を支持するかについて、考えをまとめ、話し合う。</p> <p>○政策をよりよいものにする方法について考え、話し合う ・与党が提案した社会保障制度の拡大には賛成だが、野党の考えも取り入れられるよう、消費税の増税のみに財源を頼るのではなく、累進課税のしくみも見直して、高所得者の所得税率を上げる方法もよいのではないかと思った。</p>	<p>た高齢者向けの支出が多くなっていることや今後現役世代に求められる負担が増していくことなどを、資料を基に調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負担と給付のバランスを様々な立場の人が議論し、制度を考えていく必要があることを捉えさせる。その際、自分たちも決して他人事ではなく、将来担い手として関わっていくことに気付かせ、問題意識をもたせたい。</li> <li>・短期的視点と長期的視点からアイデアを出させる。</li> <li>・教P. 168～P. 169</li> <li>・環境問題の解決に向けた取り組みについて、対立と合意や効率と公正に着目して追究させる。（対立と合意，効率と公正）</li> <li>・歴史的分野での学習と関連付け，四大公害病について振り返るとともに，公害が発生し，改善されていった経緯について確認する。</li> <li>・環境基本法の制定や，企業と協力して環境保全に取り組んでいることを捉えさせる。</li> <li>・アクティビティにある松山市のまちづくりに関する事例を紹介し，生徒に自分が住んでいる地域や周辺の地域で起きた似たような事例について関心をもたせる。</li> </ul> <p>【評】環境保全に向けた公的機関の取り組みの事例について調べる活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教P. 172～P. 173</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習した，対立と合意，効率と公正，希少性，民主主義といった見方・考え方を複合的に用いて追究させる。</li> <li>・効率と公正の観点から，それぞれの政策の利点と問題点をまとめさせ，チャート図に整理させる。</li> <li>・整理した内容をもとに，それぞれの政策を多面的・多角的に評価させ，根拠を明確にした上で理由をまとめさせる。</li> <li>・支持する政策とその理由について話し合わせどちらの政党を与党にするか，模擬投票させる。</li> <li>・「先生からの視点の提供」や「考えるためのポイント」を参考に，多面的・多角的に改善案を考えさせる。</li> </ul> <p>【評】さまざまな見方・考え方を活用し，他者と話し合いながら多面的・多角的に持続可能な社会保障について考える活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】